

2025年度教育学科 入学者受入れの方針に照らした 大学入学者選抜の取組の適切性に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの志ふり返り（学科／研究科専攻の入学者受入れの方針）」のデータを活用した検証を行った。学科の入学者受入れの方針は以下の通りである（<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/fe.html>）。

「保育・教育にかかわる者として乳幼児・児童・生徒をとりまく日常生活や周辺環境で生じる諸課題を広い視野でとらえ、深く理解し対応できる力が必要になります。そのため入学後の学修や実践に必要な知識を有し、それらを自律的な学修によって伸ばしていこうとする向上心と意欲、保育・教育に貢献していこうとする使命感を有する学生の入学を期待します。」

「大学入学者選抜の取組の適切性」の結果

1. 対象となる1年生の回答者数は190名(76%)であった。
2. 各項目、最低点が1点、最高点が6点であり、各項目の平均点は、「相互理解」が最高で4.9点、次いで「的確な表現」と「人間の営みへの関心」が4.7点、「論理的思考」が4.6点であり、昨年度より0.1～0.2ポイント高値を示した。
3. 6段階の各回答者の割合を項目別に求めると、下位3段階（3：あまりそう思わない、2：そう思わない、1：全くそう思わない）の回答者の存在割合は5～8%であり、昨年度の8～14%に比して低く、受け入れ方針に従った入学者選考が達成された可能性が考えられた。

